

教え方のワンポイント

1. 可能動詞

練習 1-I 可能動詞

- *まず、50音表を準備し、動詞の分類を「第2類動詞」→「第3類動詞」→「第1類動詞」の順で復習する。
- *次にp99の重点句型1を見せ、「第2類動詞」→「第3類動詞」→「第1類動詞」の順で「可能動詞」の作り方を教える。
- *そして、p91を使用し、「第2&3類動詞」の「可能動詞」を作る練習をする。
- *それから、p90を使用し、「第1類動詞」の「可能動詞」を作る練習をする。
- *最後に、全ての分類の動詞をランダムに「可能動詞」にする練習をする。
- *「可能動詞」は、全て「第2類動詞」だと説明する。(p100の上の部分)
- *「わかる」「知る」「ある」は、すでに可能(できる)や、ある特定の状態を表しているので、上記の動詞に可能動詞はないと説明する。

練習 1-II おすしが作れます。

- *まず、p100の下部分の助詞の使い方を確認し、幾つか例を挙げて練習させる。助詞「を」は動作の対象(目的語)で、助詞「が」はある能力を保持していることを表す。「を」以外の助詞は変化しないと強調する。

主語の動作	保持している能力の説明
私は日本語 ^を 話します。	私は日本語 ^が 話せます。
私はバイク ^に 乗ります。	私はバイク ^に 乗れます。
私は来年日本 ^へ 行きます。	私は来年日本 ^へ 行けます。

- *次に、下記のような助詞の穴埋め問題を作成して練習をしてから、教科書の練習問題に入る。

()に入る助詞は何ですか。

例：日本語()話せます。

①お酒()飲みます。 ②ピアノ()弾けます。

③箸でご飯()食べられます。 ④お寿司()作れます。

⑤1人で買い物()できます。 ⑥日本語の辞書()引けます。

⑦1人で日本()行けます ⑧1人で日本()住めます。

⑨外国人と英語()話せます。 ⑩一人で新幹線()乗れます。

⑪この漢字()読めます。 ⑫毎朝5時()起きられます。

⑬ラーメン()二杯食べられます。…

- *練習1-IIの練習の時、学生が可能動詞に集中するあまり、助詞への注意が薄れがちになるので、助詞に注意を促す。
- *「13.『可能動詞』の質問に答える」の助詞「に」は、対象を表す助詞だと伝える。(其他文法事項2)
- *「21.3日で片仮名を覚える」の助詞「で」は、期限&範囲を表す助詞だと伝える。(其他文法事項1)
- *時間に余裕があれば、1~30の設問を質問文にし、肯定、或いは否定で答えさせる練習をさせてもいい。

A: 英語が話せますか。

B: はい、話せます。/いいえ、話せません。

練習 1-Ⅲ この豆腐は2週間前のですから、食べられません。

*まず、絵を見て適切な可能動詞の文を作るように指示を出し、ペアやグループで考えさせる。

*各問の前文で使用されている助詞に注意を促す。

*練習 1-Ⅲでは誤答が出やすいため、下記の解答例を参考に説明をするといいい。

1.	この芝生 ^に は、	○：入れません。 ✖：助詞の勘違いによる誤答「歩けません」：「場所 ^に +を+歩く」 ✖：助詞の勘違いによる誤答「通れません」：「場所 ^に +を+通る」 ✖：助詞の勘違いによる誤答「遊べません」：「場所 ^に +で+遊ぶ」
2.	このマンションでは、ペットが	○：飼えません。
3.	この道は工事中ですから、	○：通れません。 ○：入れません。 ○：車が止められません。
4.	このボールペンは、	○：書けません。 ○：使えません。 ○：直せません。
5.	このセーターは古いですから、 もう	○：着られません。 ○：捨てられます。
6.	3000万円では、このうちは	○：買えません。 ○：建てられません。
7.	この机は	○：使えません。 ○：直せません。
8.	このシャツは洗濯機 ^で	○：洗えません。 ○：洗濯ができません。 ✖：助詞の勘違いによる誤答「入れられません」：「洗濯機 ^で +に+入れる」

応用練習

*あなたは何かができますか。可能動詞を使って三つ考えてみましょう。

*そして、クラスの人たちに自分ができることを教えてあげましょう。

会話 1

*Ⅰ：「これからいろいろ教えてくださいね。」とⅢ：「これからコンパだから、…」の「これから」は、中国語の「從今以後、從現在開始」に相当すると伝える。(其他文法事項3)

*Ⅲ：「今日晩ごはんの時間には帰れないの。」の「～の。」は、「～んです/～のです」の口語的な使い方家族や友達間で使用し、第19課で学習した「説明や理由を表す際に使用する文型」だと説明する。(其他文法事項4)

*Ⅰ：「李さんは日本語が上手ですね。」とⅡ：「これ、僕の得意な歌なんです。」の「上手」「得意」は第11課で学習したが、他の人には「上手」或いは「得意」、自分には「得意」を使用すること再確認をする。

*Ⅱ：「では、遠慮なく。」はここでは「那我就不用客氣地（～）」になる。「遠慮なく」には二つの用法がある。第一は、相手に対して用いる用法であり、「気をつかわないで」「どうぞ」という許可・勸奨の意を表し、「遠慮なく食べてください」「遠慮なく言ってください」などがある。第二に、自分の行為に用いる用法である。この場合は通常、相手からの許可（「どうぞ」など）を受けた後に、「では、遠慮なく。」のように用い、「それではそのようにします〔那我就不客氣了〕』という受諾の意を表すと説明する。

*Ⅲ：「遅くならないでね」は、第14課の命令・指示・依頼表現「**ない形**+てください」で、口語や家族間ではよく「ください」が省略されると伝える。

2. V [辞書形] ことができます

練習 2-I A：フランス語を話すことができます。

B：ええ、フランス語が話せます。

*板書 視覚的に文型のシステムと助詞の使い方を理解させるため、幾つかの例文を見せる。

- 1) 私は英語を話します。 ←事実
私は英語**が**話**せ**ます。 ←可能動詞
私は英語を**話すこと****が**でき**ま**す。 ←可能表現
- 2) わたしはテニスをします。
わたしはテニス**が**でき**ま**す。
わたしはテニス**を**する**こと****が**でき**ま**す。
- 3) わたしは毎日辛い料理を食べます。
わたしは毎日辛い料理**が**食**べ**られ**ま**す。
わたしは毎日辛い料理を**食**べる**こと****が**でき**ま**す。

*「事実」から「可能表現」への文レベルでの変換練習をする。

A：サッカー**を**し**ま**す。

B：サッカー**を**する**こと****が**でき**ま**す。

日本料理を作ります・ピアノを弾きます
日本語でメールを書きます・パソコンを使います
英語の歌を歌います。お酒をたくさん飲みます…

*教科書の練習では、対話の問いと返答に「可能動詞」と「可能表現」が使われているが、学生のレベルによって、まず「可能表現」のみでの対話、次に「可能動詞」と「可能表現」での対話の練習をさせてもいい。

*「7. 今晚7時までにはうちへ帰ります。」の助詞「までに」は、中国語の「在～之前」に相当すると伝える。(其他文法事項5)

*「9. ドラえもんの絵をかきます」の練習の時、「かけます」と答えた学生たちに実際に黒板にドラえもんの絵を何も見ないでかかせてみてほしい。

練習 2-II わたしができる事

*「可能動詞」或いは「可能表現」が答えとなるので、助詞や文末に注意するように伝える。

*練習 2-II の作文を参考に、宿題として「わたしができる事」というテーマで作文を書かせ、またクラスで発表させてもいい。

会話2

- * 「おかけください。」は、正式な場合で「座ってください。」と言う時に使われる丁寧な表現だと説明する。(其他文法事項6)
- * 「李明麗と申します。」の「申します」は、「言う」の謙譲語で自己紹介の時に使用し、助詞「と」は「～と思う」と同様、内容を表すと説明する。(其他文法事項7)
- * 「歌ったり、踊ったりできますか。」の「～たり、～たりする」は、第13課で学習した動詞の例示表現であると伝える。
- * 「今まで幼稚園で働いたことがありますか。」の「～たことがある」は、第17課で学習した経験表現であると伝える。
- * 「翻訳のアルバイトはしたことがありますが、幼稚園で働いたことはありません。」の「～は～が、～は～」は、第7課の会話で学習したもので、助詞「を」が「は」に変化した対比の強調表現だと説明する